経営比較分析表（令和2年度決算）

宮城県丸森町　丸森町国民健康保険丸森病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	5	-	ド Ｉ	救 臨
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
12,904	6,360	第２種該当	-	１０：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	35	-
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
-	-	90
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
55	35	90

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和2年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

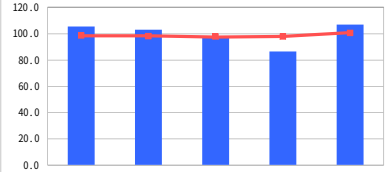
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

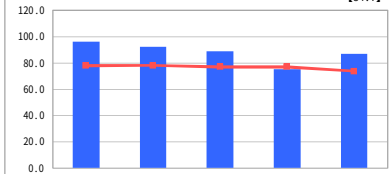
1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)　【102.5】



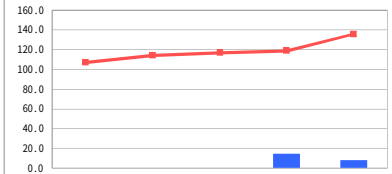
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	105.0	102.8	97.6	86.3	106.6
平均値	98.4	98.2	97.5	97.7	100.7

②医業収支比率(%)　【84.7】



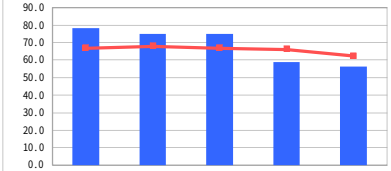
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	95.7	92.2	88.4	74.9	86.8
平均値	77.9	78.1	77.0	77.1	73.8

③累積欠損金比率(%)　【69.3】



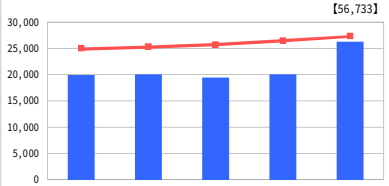
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	0.0	0.0	0.0	14.0	7.5
平均値	107.2	114.4	117.0	118.8	136.0

④病床利用率(%)　【67.2】



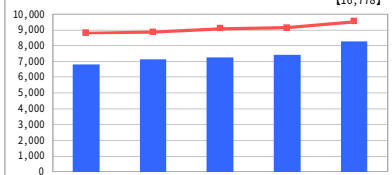
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	78.2	74.9	74.9	58.8	56.3
平均値	66.8	67.9	66.9	66.1	62.3

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)　【56,733】



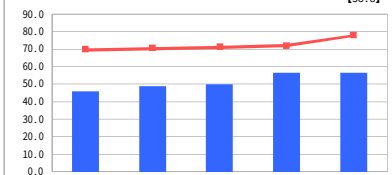
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	19,841	20,007	19,452	20,042	26,177
平均値	24,882	25,249	25,711	26,415	27,227

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)　【16,778】



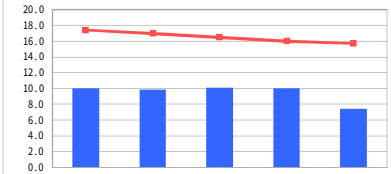
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	6,773	7,127	7,245	7,378	8,257
平均値	8,797	8,852	9,060	9,135	9,509

⑦職員給与費対医業収益比率(%)　【58.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	45.8	48.5	49.7	56.4	56.2
平均値	69.5	70.3	71.1	72.0	77.7

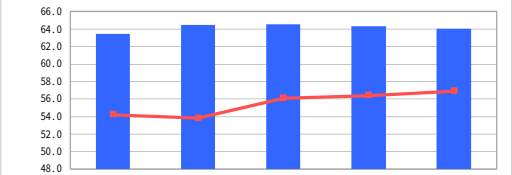
⑧材料費対医業収益比率(%)　【24.8】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	10.0	9.8	10.1	10.0	7.4
平均値	17.4	17.0	16.5	16.0	15.7

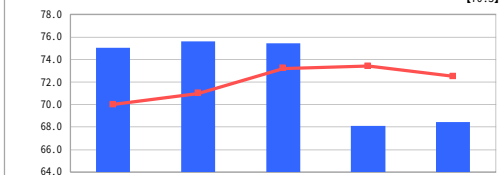
2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)　【54.8】



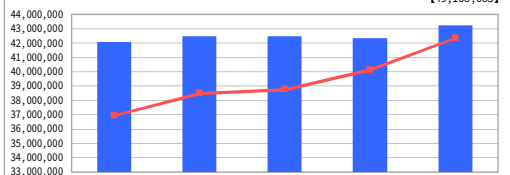
	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	63.4	64.4	64.5	64.3	64.0
平均値	54.2	53.8	56.1	56.4	56.9

②器械備品減価償却率(%)　【70.3】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	75.0	75.6	75.4	68.1	68.4
平均値	70.0	71.0	73.2	73.4	72.5

③１床当たり有形固定資産(円)　【49,168,683】



	H28	H29	H30	R01	R02
当該値	42,038,900	42,449,422	42,456,800	42,305,011	43,221,411
平均値	36,941,419	38,480,542	38,744,035	40,117,620	42,330,999

※　「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ　地域において担っている役割

町内唯一の一次医療と入院医療を担う基幹的な医療機関として、保健・医療・福祉の連携を図りながら、町民の生命と健康を守るため、良質な医療を安定的に提供するとともに、各種健診・健康づくり事業などの疾病予防、介護予防に積極的に取り組み、地域の医療水準の向上に貢献する。

Ⅱ　分析欄

1．経営の健全性・効率性について

当院は令和元年東日本台風により床上浸水の被害を受け、外来診察を一時休診し、すべての入院患者を隣接病院に移送する措置をとらざるを得なかった。また、令和２年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、外来患者数・病床使用率の減少となった。

このようなことから、町からの繰入金の増額をいただき、ほとんどの経営指標数値は、前年を大きく上回り、経常収支比率、医業収支比率においては、全国平均を上回った。また、職員給与費対医業収益比率は前年を下回り、累積欠損金も減少した。

一方、入院患者１人１日当たりの収益は地域包括ケア病床の導入により増加している。

2．老朽化の状況について

病院本体建物は築24年であり法定耐用年数内にあるものの、本体と一体となっている空調や電気などの機械備品などは、法定耐用年数を経過している。

また、医療用機械備品については、令和元年東日本台風により使用不能となった機器の更新をしたことから、その償却率が大幅に減少し、全国平均も下回った。しかしながら、有形固定資産減価償却率は64.0%と前年度よりも若干良くなったものの、全国平均を上回っている状況にある。

全体総括

病院本体等、有形固定資産の状態は、総じて老朽化が進んでいるのに加え、経営状況においては、昨年度の台風被害及び新型コロナウイルス感染症という外的要因が続いたとはいえ、年々経営指標数値が下降傾向にあるので、総合的に判断すると経営の健全性・効率性に欠けているといえる。今後も、経営の抜本的改革が必要であると思われる。